

令和5年度 赤磐市障害者自立支援協議会

全体会&研修会

R5. 6. 29

in 中央図書館



「全体会」

全体会を久しぶりに対面で開催しました。今回、ZOOMでも配信し、ハイブリッド方式で行い、60名の方（ZOOM：18名）が参加されました。

全体会では、R4年度の事業報告及び決算、R5年度の事業計画及び予算案、新役員の選出について提案し、賛同を得られました。



「研修会」

間野 敏志氏（たかはし松風寮指定相談支援事業所 相談支援専門員）を講師にお迎えし、「相談支援からみる災害時対応や地域での取り組み～西日本豪雨災害から5年を迎えるにあたって～」をテーマに研修会を開催しました。講師の間野氏は、相談員としての立場、また、ご自身も被災した立場から講演して下さい、様々な立場の方に届く言葉で話をしてくださいました。

- ★命を守る行動を最優先に
- ★空振りになっても避難を



みなさんへお伝えしたいこと（配布資料より）

- (1) 平成30年西日本豪雨災害
- (2) 発災後から地域での取り組み
- (3) 支援する立場から「される側」へ
- (4) 「いま」だから災害について考える

《参加者からの感想》

- ・繋がっていく事の重要性がわかりました。ボランティアが来て子どもと食事を作る等避難先での希望が垣間見えました。「空振りになっても避難」は利用者に伝えたいと思いました。（相談員）
- ・災害のスライドを見て、考え方が変わり、「助けて！」の声を出さないといけないと思いました。（保護者）
- ・「助けて」と言える関係性や間柄になっておくことの必要性を感じました。（保育士）
- ・やっぱり“つながる”ことが大事。福祉の枠を越えて、異業種の方たちとどうやって繋がっていくか一緒に考えていきたいと思いました。（相談員）
- ・「寄り添う」より「寄り合う」の方が良い・・・本当にそうだと思います。（保護者）

